

令和4年 火災統計



船橋市消防局

〔目 次〕

1	火災の現状と動向	P 1
2	火災状況	
(1)	令和4年中の火災概要	P 1
(2)	1日当たり及び1件当たりの損害額及び焼損床面積の状況	P 3
(3)	火災種別ごとの状況	P 4
(4)	月別火災状況	P 5
(5)	四季別火災状況	P 6
(6)	覚知方法別火災状況	P 6
(7)	時間帯別火災状況	P 7
(8)	初期消火の実施状況	P 8
3	出火原因	
(1)	出火原因別の状況	P 9
(2)	「放火」及び「放火の疑い」による火災の状況	P 10
(3)	出火原因「その他」の内訳	P 10
4	建物火災状況	
(1)	建物焼損床面積及び損害額の状況	P 11
(2)	建物用途別火災状況	P 12
(3)	放水開始時間別損害状況	P 14
(4)	鎮火時間別損害状況	P 14
5	死者・負傷者の状況	P 15
6	住宅用防災機器等の設置及び鳴動状況	P 16
7	管轄別火災発生状況	P 17
	中央署管轄町名別火災件数	P 19
	東署管轄町名別火災件数	P 22
	北署管轄町名別火災件数	P 25

1 火災の現状と動向（表1）

この10年間の火災件数を平均すると、年間135件となり、過去4年間は平均を下回っている。

令和3年中の85件に対し、令和4年中は109件と24件増加しており、100件を超えている。

火災による死者は、令和2年中は2人、令和3年中は3人であったが、令和4年中は4人と若干の増加傾向である。

負傷者にあつては、平成25年から平成30年の間では、平成27年を除き20人を超えていたが、令和元年以降20人を下回っている。

令和4年中の建物焼損床面積は1,328㎡であり、損害額は1億8,450万円となっており、共に令和3年よりも増加している。

令和4年中の出火率は1.7件/万人で令和3年中の出火率1.3件/万人と比較して0.4件/万人増加している。

(表1)火災の推移

年	区分	件数 (件)	焼損床面積 (㎡)	損害額 (千円)	死者 (人)	負傷者 (人)	出火率 (件/1万人)
平成 25 年		158	2,728	199,299	5	25	2.6
平成 26 年		177	2,695	282,025	1	34	2.8
平成 27 年		154	1,019	284,457	5	9	2.5
平成 28 年		152	1,169	245,196	5	23	2.4
平成 29 年		145	1,555	153,045	5	30	2.3
平成 30 年		148	1,937	376,942	11	28	2.3
令和 元 年		108	2,158	198,215	6	12	1.7
令和 2 年		116	6,921	836,607	2	12	1.8
令和 3 年		85	1,258	126,631	3	15	1.3
令和 4 年		109	1,328	184,500	4	18	1.7

※ 出火率とは、人口1万人当たりの火災件数をいいます。

※ 人口は、毎年1月1日現在の住民基本台帳人口です。

※ 死者には、火災より負傷した後、48時間以内に死亡した者を含みます。

2 火災状況

(1) 令和4年中の火災概要（表2・グラフ①）

令和4年中の火災件数は109件で前年より24件(+28.2%)増加している。

火災種別毎に前年と比較すると、「建物火災」が74件(+13件・+21.3%)、「車両火災」が10件(+4件・+66.7%)、「その他の火災」が25件(+7件・+38.9%)発生しているが、「林野火災」、「船舶火災」及び「航空機火災」は発生していない。

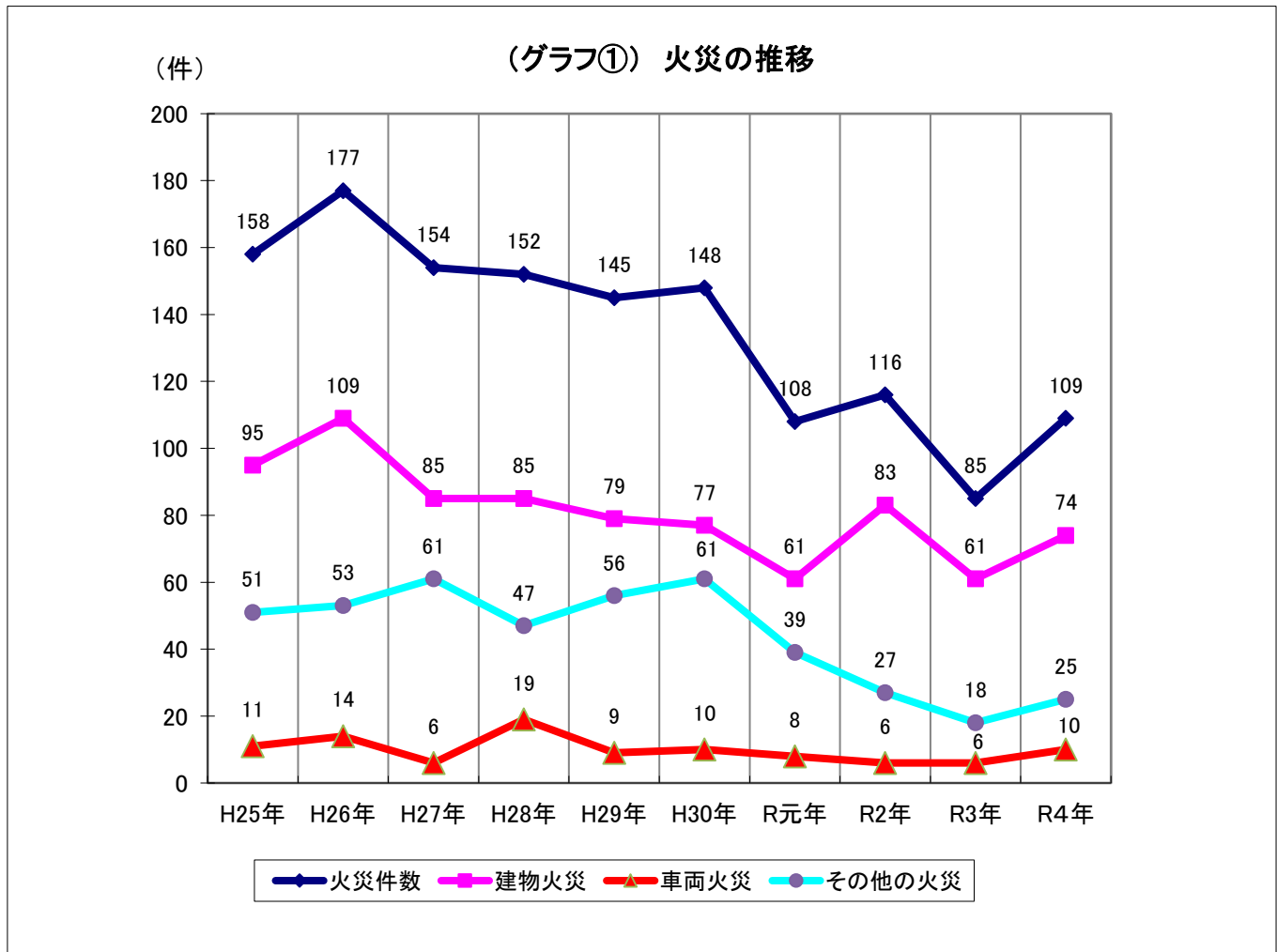
建物焼損床面積は、1,328㎡で前年と比べ、70㎡(+5.6%)増加しており、損害額にあつても1億8,450万円と、前年と比べ5,786万9千円(+45.7%)増加している。

また、焼損棟数は、91棟(+9棟・+11.0%)と増加しているが、全焼火災棟数は10棟(-1棟・-9.1%)となり、前年より減少している。

(表2) 令和 4 年の火災の概要

	単位	令和 4 年 (A)	令和 3 年 (B)	対 前 年 増 減 数 (A) - (B)	増 減 率 (A-B)/B (%)
出 火 件 数	件	109	85	24	28.2
建物火災	件	74	61	13	21.3
林野火災	件	0	0	±0	-
車両火災	件	10	6	4	66.7
船舶火災	件	0	0	±0	-
航空機火災	件	0	0	±0	-
その他の火災	件	25	18	7	38.9
焼 損 棟 数	棟	91	82	9	11.0
全 焼	棟	10	11	▲ 1	▲ 9.1
半 焼	棟	7	3	4	133.3
部 分 焼	棟	22	20	2	10.0
ぼ や	棟	52	48	4	8.3
建物焼損床面積	m ²	1,328	1,258	70	5.6
建物焼損表面積	m ²	165	290	▲ 125	▲ 43.1
林野焼損面積	a	0	0	±0	-
死 者	人	4	3	1	33.3
負 傷 者	人	18	15	3	20.0
り 災 世 帯	世帯	63	81	▲ 18	▲ 22.2
全 損	世帯	9	10	▲ 1	▲ 10.0
半 損	世帯	7	6	1	16.7
小 損	世帯	47	65	▲ 18	▲ 27.7
り 災 人 員	人	120	188	▲ 68	▲ 36.2
損 害 額	千円	184,500	126,631	57,869	45.7
建物火災	千円	179,418	125,189	54,229	43.3
林野火災	千円	0	0	±0	-
車両火災	千円	3,203	273	2,930	1,073.3
船舶火災	千円	0	0	±0	-
航空機火災	千円	0	0	±0	-
その他の火災	千円	1,879	1,169	710	60.7
(爆 発)	千円	0	0	±0	-
出 火 率	件	1.7	1.3	0.4	30.8

※ 「▲」は減少を示します。(以下同じ)



(2) 1日当たり及び1件当たりの損害額及び焼損床面積(表3)

令和4年中に発生した火災の1日当たりの火災件数は0.3件/日(前年比+0.1件/日)、1日当たりの損害額は50万5千円/日(前年比+15万8千円/日)、1日当たりの焼損床面積は3.6㎡/日(前年比+0.2㎡/日)となっている。

火災1件当たりの損害額は169万3千円/件(前年比+20万3千円)となっている。

また、建物火災1件当たりの損害額は242万5千円/件(前年比+37万3千円/件)、1件当たりの建物焼損床面積は17.9㎡/件(前年比-2.7㎡/件)、1件当たりの焼損棟数は1.2棟/件(前年比-0.1棟/件)となっている。

(表3) 1日当たり及び1件当たりの火災の概要

区 分		単位	令和 4 年 (A)	令和 3 年 (B)	対前年増減数	増 減 率 (A-B)/B (%)
全火災1日当たり	火 災 件 数	件	0.3	0.2	0.1	50.0
	損 害 額	千円	505	347	158	45.5
	建物焼損床面積	㎡	3.6	3.4	0.2	5.9
全火災1件当たり	損 害 額	千円	1,693	1,490	203	13.6
建物火災1件当たり	損 害 額	千円	2,425	2,052	373	18.2
	建物焼損床面積	㎡	17.9	20.6	▲ 2.7	▲ 13.1
	焼 損 棟 数	棟	1.2	1.3	▲ 0.1	▲ 7.7

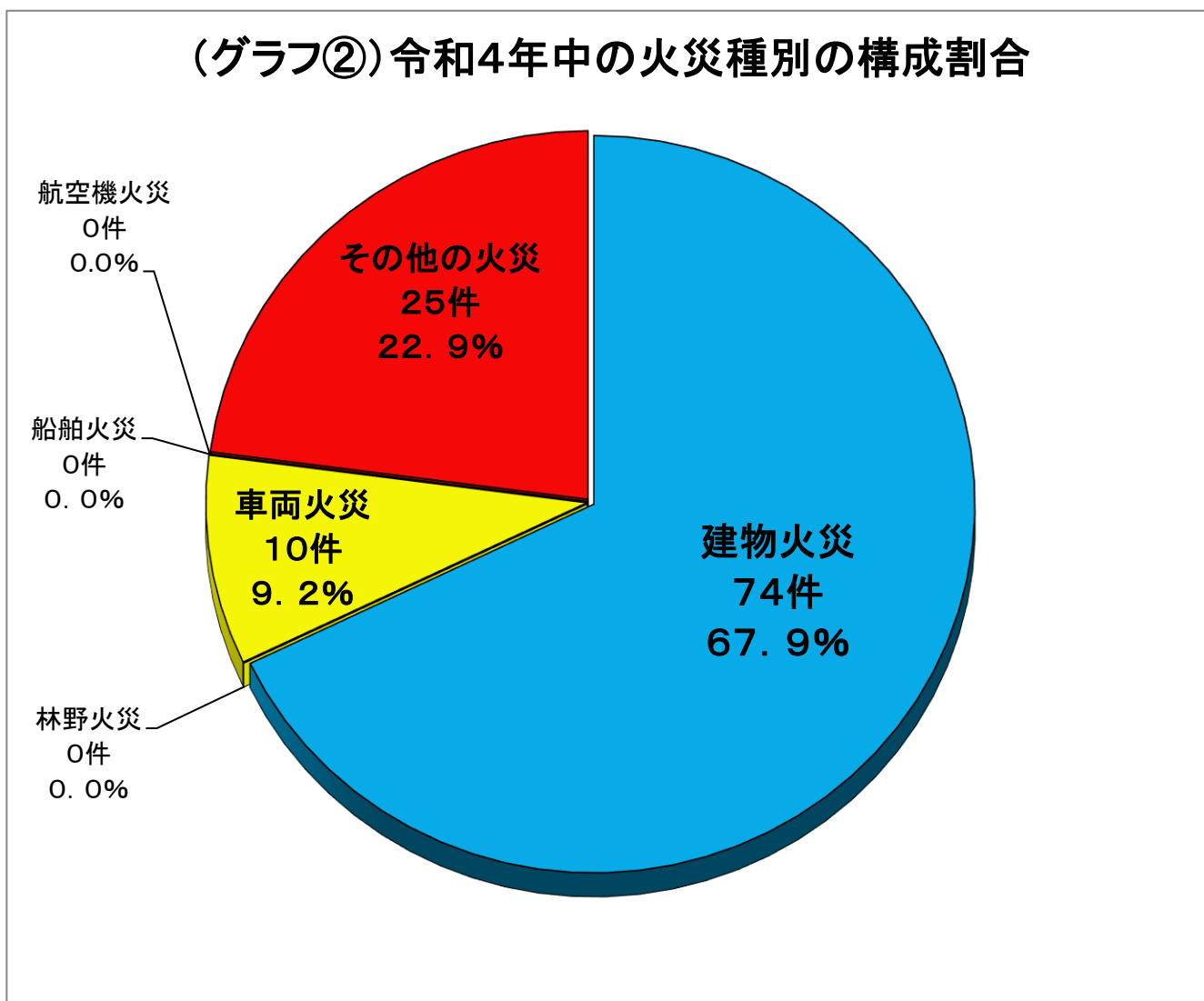
(3) 火災種別ごとの状況 (表4・グラフ②)

火災種別火災件数の構成割合をみると、「建物火災」が全火災の67.9%で最も高い比率を占めている。次いで、「その他の火災」、「車両火災」の順になっており、過去10年についても同様である。

(表4)火災種別火災件数の構成割合の推移

	建物火災		林野火災		車両火災		船舶火災		航空機火災		その他の火災		合計
	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	
平成 25 年	95	60.1	1	0.6	11	7.0	0	0.0	0	0.0	51	32.3	158
平成 26 年	109	61.6	0	0.0	14	7.9	1	0.6	0	0.0	53	29.9	177
平成 27 年	85	55.2	0	0.0	6	3.9	2	1.3	0	0.0	61	39.6	154
平成 28 年	85	55.9	0	0.0	19	12.5	1	0.7	0	0.0	47	30.9	152
平成 29 年	79	54.5	0	0.0	9	6.2	1	0.7	0	0.0	56	38.6	145
平成 30 年	77	52.0	0	0.0	10	6.8	0	0.0	0	0.0	61	41.2	148
令和 元 年	61	56.5	0	0.0	8	7.4	0	0.0	0	0.0	39	36.1	108
令和 2 年	83	71.6	0	0.0	6	5.2	0	0.0	0	0.0	27	23.3	116
令和 3 年	61	71.8	0	0.0	6	7.1	0	0.0	0	0.0	18	21.2	85
令和 4 年	74	67.9	0	0.0	10	9.2	0	0.0	0	0.0	25	22.9	109

(グラフ②)令和4年中の火災種別の構成割合



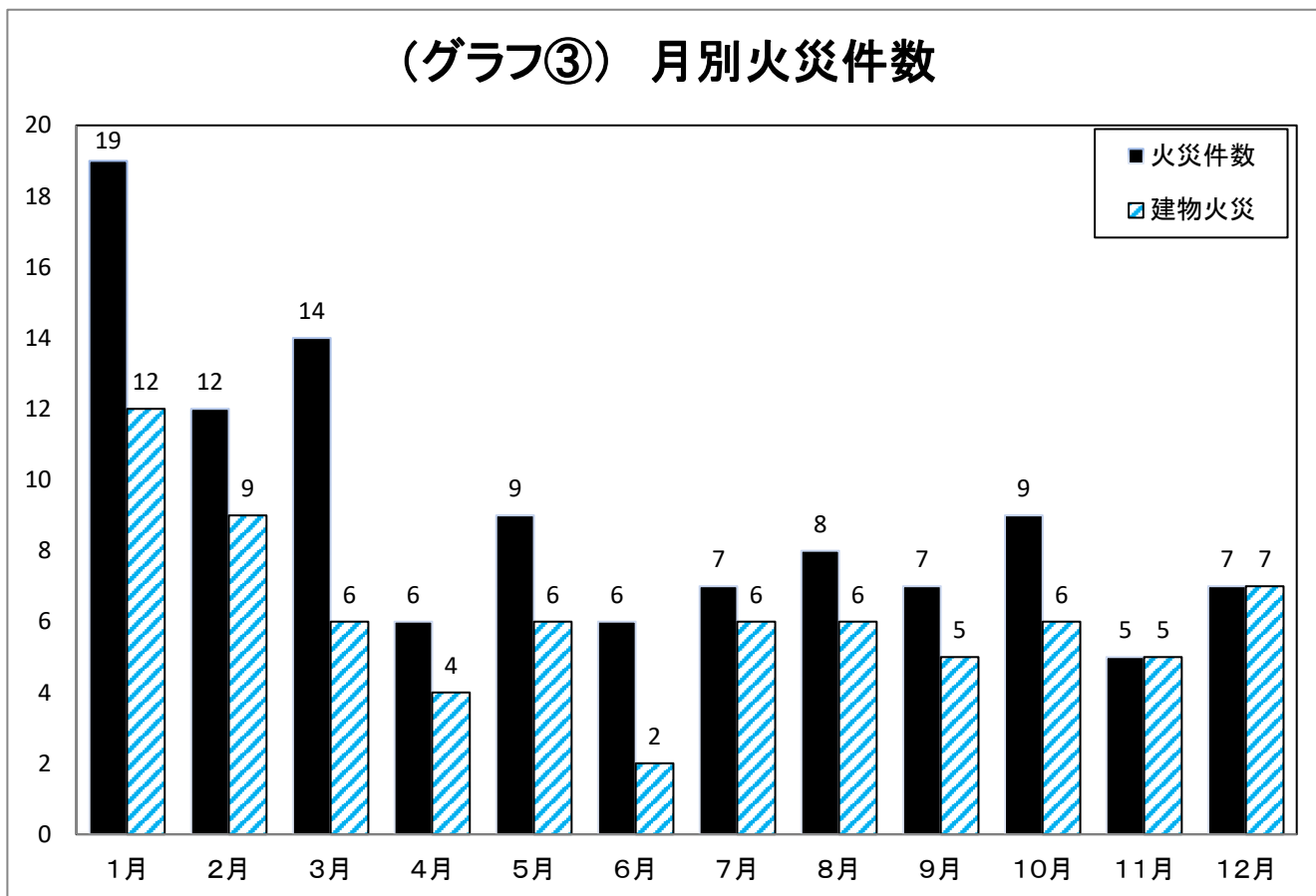
(4) 月別火災状況 (表5・グラフ③)

令和4年中の火災件数を月別にみると、1月が19件で最も多く、最も少ない月は11月で5件となっており、1ヶ月に平均9.1件の火災が発生している。

(表5)月別火災件数等

	出火件数						建物 焼損 床面積 (㎡)	損害額(千円)					
	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他		建物	林野	車両	船舶	航空機	その他
1月	19	12		2		5	211	31,930	31,279		104		547
2月	12	9		1		2	194	7,597	7,517		50		30
3月	14	6		2		6	47	6,281	4,565		1,716		
4月	6	4		1		1		1,150	716		420		14
5月	9	6		1		2	27	3,815	3,532		275		8
6月	6	2		2		2	65	38,064	37,473		591		
7月	7	6				1	110	13,254	13,254				
8月	8	6				2		322	322				
9月	7	5				2	25	3,521	3,520				1
10月	9	6		1		2	117	43,052	41,726		47		1,279
11月	5	5					169	21,195	21,195				
12月	7	7					363	14,319	14,319				
合計	109	74		10		25	1,328	184,500	179,418		3,203		1,879
平均	9.1	6.2		0.8		2.1	110.7	15,375.0	14,951.5		266.9		156.6

(グラフ③) 月別火災件数



(5) 四季別火災状況(表6)

令和4年中の火災件数を四季別にみると、冬季に38件と多く発生しており、次いで春季、同順で夏季、秋季の順となっている。

(表6) 四季別火災状況

	出火件数	割合(%)	損害額(千円)	割合(%)	焼損床面積(m ²)	割合(%)
春季(3月、4月、5月)	29	26.6	11,246	6.1	74	5.6
夏季(6月、7月、8月)	21	19.3	51,640	28.0	175	13.2
秋季(9月、10月、11月)	21	19.3	67,768	36.7	311	23.4
冬季(1月、2月、12月)	38	34.9	53,846	29.2	768	57.8
合 計	109	100.0	184,500	100.0	1,328	100.0

(6) 覚知方法別火災状況 (表7)

令和4年中の火災の覚知方法は、火災報知専用電話による119番通報が66件(60.5%)あり、なかでも携帯電話からの通報が54件(49.5%)で最も多い。
また、事後聞知の件数も38件(34.9%)と多くなっている。

(表7) 覚知方法別火災件数

覚知方法別		区 分	件 数	割 合 (%)
火災報知 専用電話	NTTを除く		7	6.4
	NTT加入		5	4.6
	携帯電話		54	49.5
加入電話	固定電話		0	0.0
	携帯電話		1	0.9
警察電話			3	2.8
駆け付け通報			0	0.0
事後聞知			38	34.9
その他			1	0.9
合 計			109	100.0

(7) 時間帯別火災状況 (表8・グラフ④)

令和4年中の火災件数を時間帯別にみると、全体では10時～12時の時間帯が17件と最も多く発生しており、次いで8時～10時の13件となっている。

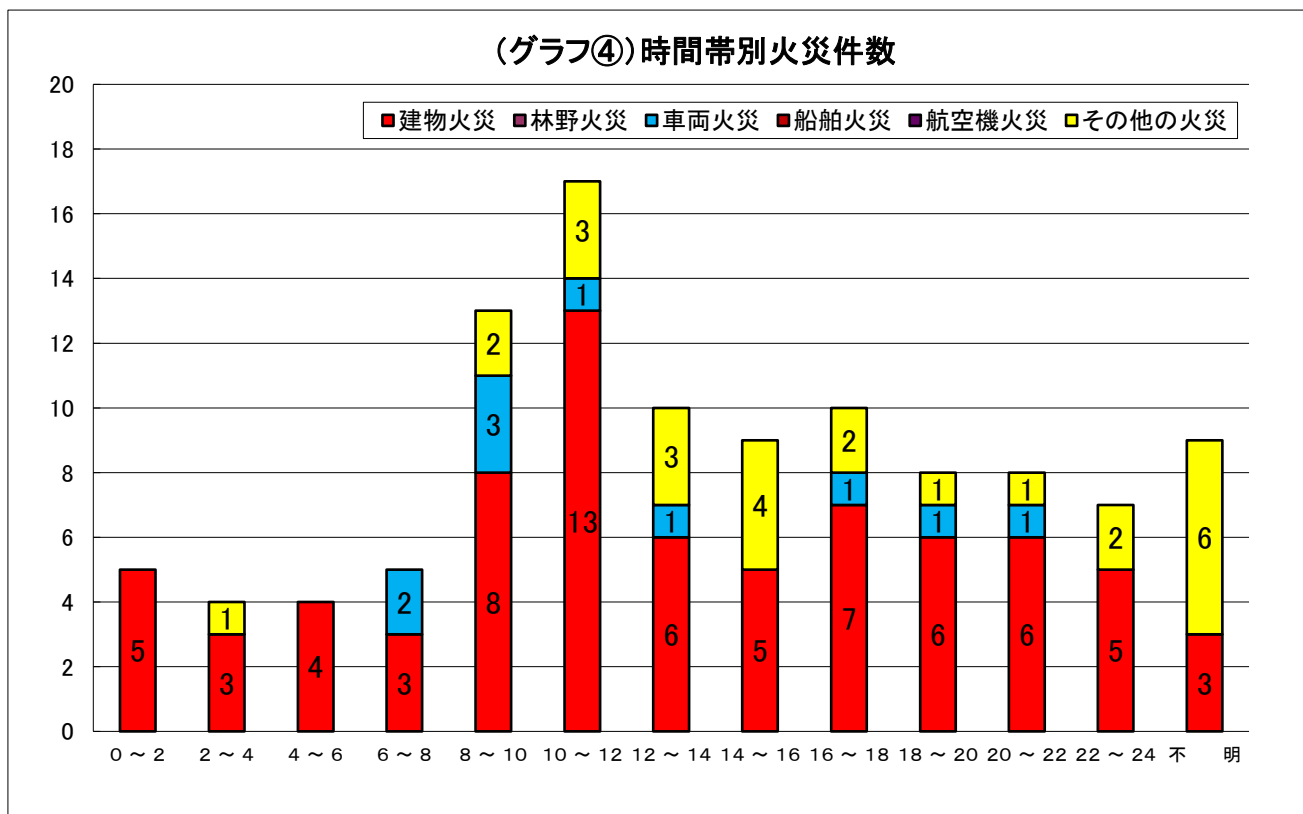
一方、火災件数が少ない時間帯は、2時～4時、4時～6時が各4件となっている。

「建物火災」は10時～12時の時間帯、「車両火災」は8時～10時の時間帯、「その他の火災」は14時～16時の時間帯に最も多く発生している。

(表8) 時間帯別火災件数

	建物火災	林野火災	車両火災	船舶火災	航空機火災	その他の火災	時間帯合計
0～2	5						5
2～4	3					1	4
4～6	4						4
6～8	3		2				5
8～10	8		3			2	13
10～12	13		1			3	17
12～14	6		1			3	10
14～16	5					4	9
16～18	7		1			2	10
18～20	6		1			1	8
20～22	6		1			1	8
22～24	5					2	7
不明	3					6	9
総件数	74		10			25	109

(グラフ④) 時間帯別火災件数



(8) 初期消火の実施状況(表9)

令和4年中の初期消火の実施状況をみると、火災件数109件のうち、65件(59.6%)で初期消火が行われており、そのうち48件(73.8%)が成功している。

建物火災における初期消火の状況をみると、火災件数74件のうち43件(58.1%)で初期消火が行われ、そのうち31件(72.1%)が成功している。

火災全体の初期消火器具の使用状況は、水道水をかけ消火したものが34件と最も多く、次いで消火器を使用したものが22件となっている。

さらに、建物火災における水道水と消火器に関する初期消火の成功率を比較すると、水道水が20件中15件(成功率44.1%)、消火器は16件中9件(56.3%)と水道水の成功率が高くなっている。

(表9) 初期消火の状況

	件数 A	初期消火 した件数 B	割合 B/A (%)	初期消火 成功件数 C	成功率 C/B (%)	初 期 消 火 器 具			
						水道水	消火器 粉末/強化液	屋内/外 消火栓	その他
建物火災	74 (61)	43 (41)	58.1 (67.2)	31 (30)	72.1 (73.2)	20 (18)	16 (11)	0 (1)	7 (11)
車両火災	10 (6)	9 (6)	90.0 (100)	6 (3)	66.7 (50)	2 (1)	5 (4)	0 (0)	2 (1)
林野火災	0 (0)	0 (0)	- (-)	0 (0)	- (-)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
その他の 火災	25 (18)	13 (6)	52.0 (33.3)	11 (5)	84.6 (83.3)	12 (6)	1 (0)	0 (0)	0 (0)
船舶火災	0 (0)	0 (0)	- (-)	0 (0)	- (-)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
航空機 火災	0 (0)	0 (0)	- (-)	0 (0)	- (-)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
合計	109 (85)	65 (53)	59.6 (62.4)	48 (38)	73.8 (71.7)	34 (25)	22 (15)	0 (1)	9 (12)

※ 成功率は、初期消火した件数に対し、初期消火成功件数の割合をいいます。

※ 初期消火器具「その他」は、毛布・座布団・タオル・土砂等の他、もみ消しなどを含みます。

※ ()内は、前年中の数値を示します。

3 出火原因

(1) 出火原因別の状況(表10・グラフ⑤)

令和4年中の出火原因別件数の順位は、1位が「電灯・電話等の配線」で16件(各14.7%)、第2位が「たばこ」で15件(13.8%)、第3位が「こんろ」で12件(11.0%)となっている。

出火原因の1位である「電灯・電話等の配線」は昨年から7件増加しており、「配線器具」、「電気装置」、「電気機器」を含めた電気に関連する火災は合計で28件発生しており、全体の25.7%を占めている。

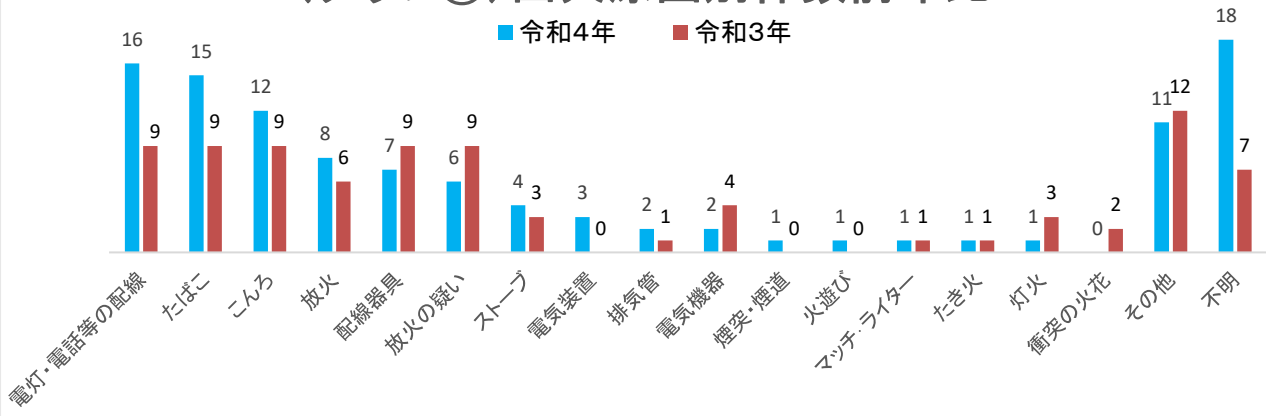
出火原因の2位である「たばこ」による火災は15件と令和3年から6件増加しており、そのうち、13件が不適当なところに捨て置いたことで発生している。

また、令和4年中の「放火」及び「放火の疑い」による火災は合計14件発生し全体の12.8%であり、令和3年と比較すると、件数、割合共に減少している。

(表10)原因別火災件数

原因	令和4年		令和3年		対前年増減数 A-B	増減率(%) (A-B)/B
	件数 A	割合 (%)	件数 B	割合 (%)		
電灯・電話等の配線	16	14.7	9	10.6	7	77.8
たばこ	15	13.8	9	10.6	6	66.7
こんろ	12	11.0	9	10.6	3	33.3
放火	8	7.3	6	7.0	2	33.3
配線器具	7	6.4	9	10.6	▲2	▲22.2
放火の疑い	6	5.5	9	10.6	▲3	▲33.3
ストーブ	4	3.7	3	3.5	1	33.3
電気装置	3	2.8	0	0.0	3	-
排気管	2	1.8	1	1.2	1	100.0
電気機器	2	1.8	4	4.7	▲2	▲50.0
煙突・煙道	1	0.9	0	0.0	1	-
火遊び	1	0.9	0	0.0	1	-
マッチ・ライター	1	0.9	1	1.2	0	0.0
たき火	1	0.9	1	1.2	0	0.0
灯火	1	0.9	3	3.5	▲2	▲66.7
衝突の火花	0	0.0	2	2.4	▲2	▲100.0
その他	11	10.1	12	14.1	▲1	▲8.3
不明	18	16.5	7	8.2	11	157.1
合計	109	100.0	85	100.0	24	28.2

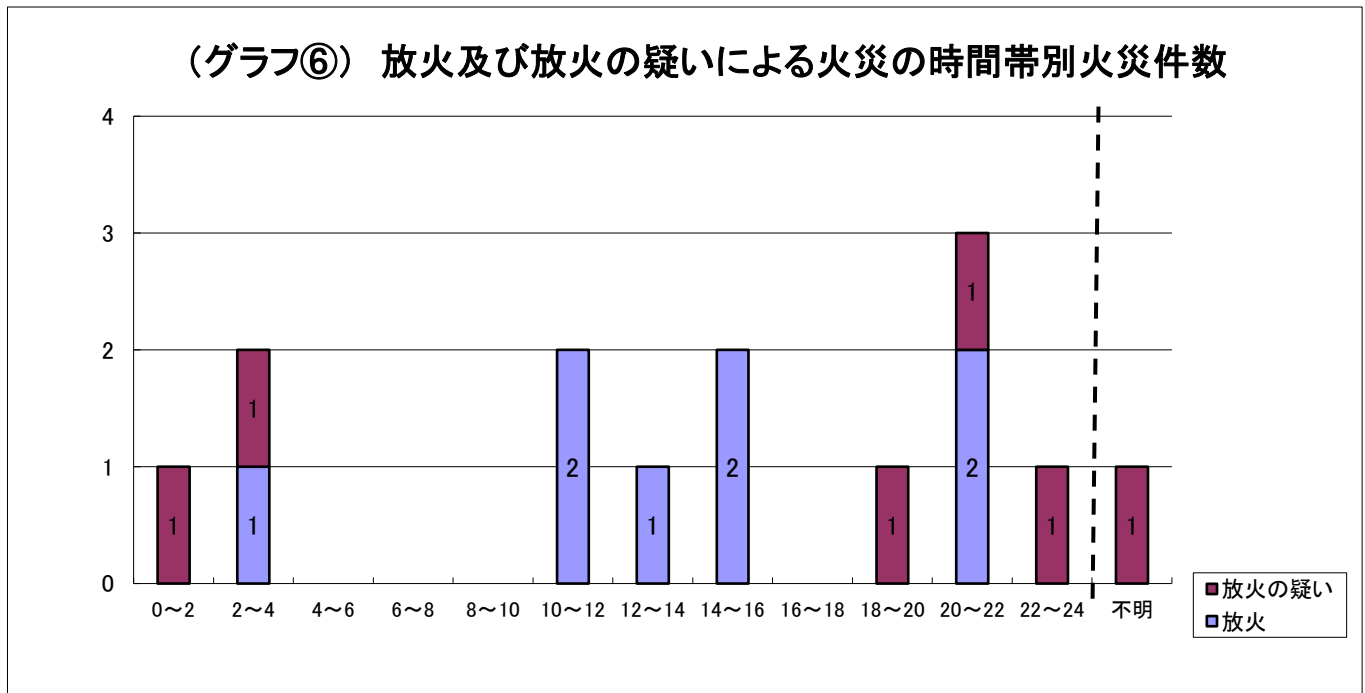
(グラフ⑤)出火原因別件数前年比



(2) 「放火」及び「放火の疑い」による火災の状況（グラフ⑥）

令和4年中の「放火」及び「放火の疑い」による火災は合計で14件発生しており、昼間（6時～18時）が5件（35.7%）、夜間（18時～6時）が8件（57.1%）、時間帯不明が1件（7.1%）となっている。

火災が最も多く発生している時間帯は、20時から22時の3件（21.4%）である。



(3) 出火原因「その他」の内訳（表11）

出火原因「その他」は、消防庁への報告要領に基づく出火原因の区分で、どの項目にも分類されないものをいう。

令和4年中の出火原因「その他」にあたる火災は、(表11)のとおりである。

電気機器等やグラインダーから発生した火花による火災が複数件発生している。

また、ジョイントボックス内で発生した漏電に起因する火災のように特異事案も発生している。

(表11) 出火原因「その他」の内訳

ハンドトーチ	ハンドトーチから漏洩したLPガスに引火し、出火したもの。
その他の移動可能な電熱器	壁付けコンセントに挿されているタオルウォーマーのプラグの刃の間に水分が付着し、短絡路が形成され火花放電したもの。
バーナー	芝焼きに使用していたトーチバーナーの火が何らかの可燃物に着火し、火災に至ったものと推定する。
その他の高温の固体	LED実装基板がヒートシンクから剥がれ、樹脂カバーに接触し着火したもの。
グラインダーの火花	ディスクグラインダーからの火花が、土台に飛び火し壁面が燃えたもの。
異金属との接触部	ジョイントボックス内のボルト型コネクタ及び配線に巻かれている絶縁テープが、経年劣化により剥がれ、ジョイントボックスの蓋に接触し漏電したもの。
カーペット類	電気カーペットのヒーター線が溶融して発熱線と短絡線が短絡、火花が電気カーペット上のござに着火し出火したもの。
その他の移動可能な電熱器	電気湯たんぽのヒーター部が電気湯たんぽの被覆と接触し出火したもの。
線香	仏壇に供えた線香が香炉から落下し、畳上に置かれた造花に接触したことにより出火したものと判定する。
その他の油を燃料とする移動可能な道具	火の点いたランタンに給油した際、揮発したホワイトガソリンに引火し、ソファに拡大したもの。
その他	ドラム缶に入っていた危険物が気化し、建物内に滞留した所に、何らかのスパークにより火災に至ったものと推定する。

4 建物火災状況

(1) 建物焼損床面積及び損害額の状況(表12・グラフ⑦)

令和4年中の建物火災の建物焼損床面積及び損害額をみると、建物焼損床面積10㎡未満の火災は56件で全体の75.6%を占めている。また、損害額は1件の火災につき1万円未満の火災が33件で全体の44.6%を占めている。

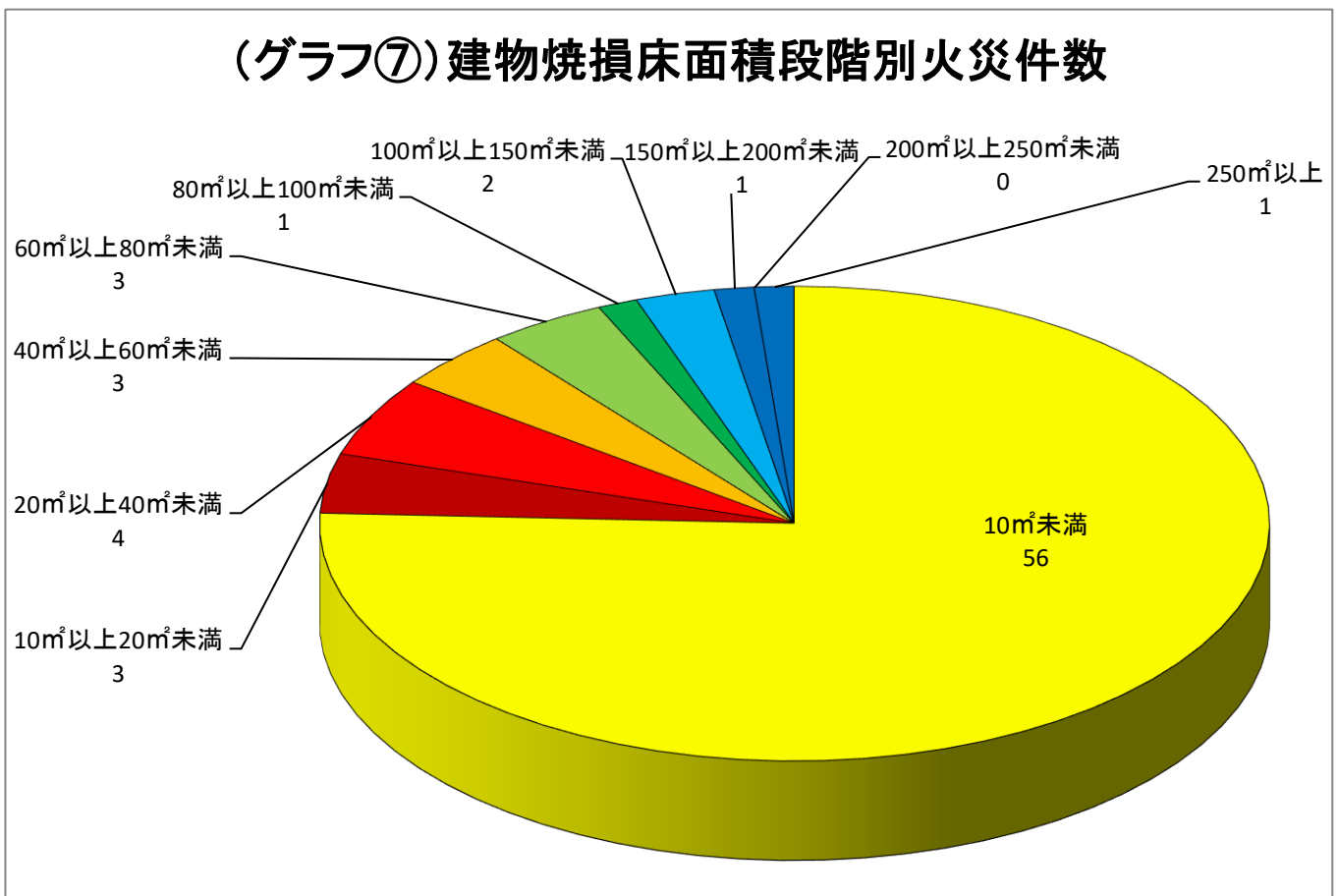
もっとも建物焼損床面積の大きい火災では、約350㎡が焼損しており、鉄骨造一部木造2階建て作業所1棟が全焼、事務所2棟、一般住宅3棟及び車両等が焼損している。

もっとも損害額の大きい火災は、約3,743万円であり、鉄骨造5階建て特定複合用途防火対象物1棟の物品販売店が焼損した火災となっている。

(表12) 建物火災の段階別火災件数

区分		火災件数	区分		火災件数
建物焼損床面積			損害額		
10㎡未満		56	1万円未満		33
10㎡以上	20㎡未満	3	1万円以上	5万円未満	7
20㎡以上	40㎡未満	4	5万円以上	10万円未満	6
40㎡以上	60㎡未満	3	10万円以上	50万円未満	8
60㎡以上	80㎡未満	3	50万円以上	100万円未満	4
80㎡以上	100㎡未満	1	100万円以上	300万円未満	5
100㎡以上	150㎡未満	2	300万円以上	500万円未満	4
150㎡以上	200㎡未満	1	500万円以上	1000万円未満	0
200㎡以上	250㎡未満	0	1000万円以上	3000万円未満	6
250㎡以上		1	3000万円以上		1
合計		74	合計		74

(グラフ⑦) 建物焼損床面積段階別火災件数



(2) 建物用途別火災状況 (表13・表14・グラフ⑧)

令和4年中の建物火災74件のうち、45件(60.8%)が住宅火災である。

火災件数が増加したことに伴い住宅火災件数も増加しており、併せて建物焼損床面積及び損害額も増加している。

(表13) 建物用途別火災件数

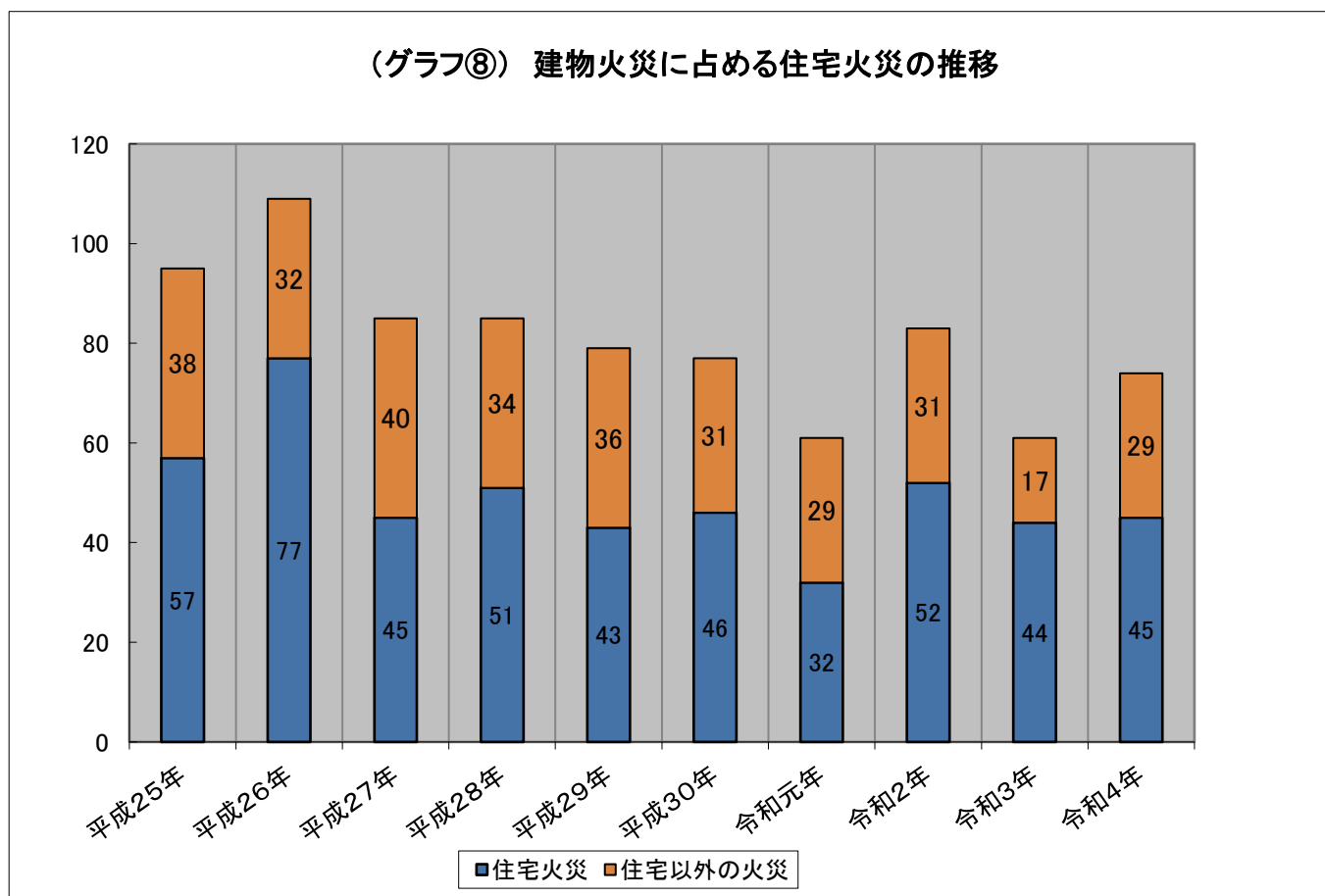
用途別		火災件数			焼損床面積 (㎡)			損害額 (千円)		
		令和4年	令和3年	増減(件)	令和4年	令和3年	増減(㎡)	令和4年	令和3年	増減(千円)
建物火災		74	61	13	1,328	1,258	70	179,418	125,189	54,229
専用住宅	一般住宅	21	21		650	688	▲ 38	110,097	50,746	59,351
	共同住宅	23	22	1	89	390	▲ 301	11,926	55,384	▲ 43,458
併用住宅	店舗	1	1		48		48	1,167	2	1,165
	事務所									
	工場・作業所等									
	倉庫									
用途別	劇場・映画館									
	公会堂・集会場									
	キャバレー									
	遊技場									
	性風俗店舗等									
	カラオケボックス等									
	待合・料理店									
	飲食店	1	1					56		56
	物品販売店舗									
	旅館・ホテル									
	病院・診療所									
	老人福祉施設等		1	▲ 1					1	▲ 1
	幼稚園・養護学校等									
	小・中・高・大学校		1	▲ 1						
	図書館・博物館									
	蒸気浴場等									
	公衆浴場									
	停車場・船舶等発着場		1	▲ 1						
	神社・寺院・教会									
	工場・作業所	4	1	3	350	14	336	14,815	1,692	13,123
車庫・駐車場										
倉庫	1	1		126	115	11	2,758	15,931	▲ 13,173	
事務所等	2	2			29	▲ 29		932	▲ 932	
複合用途(特定)	17	8	9	65		65	37,584	348	37,236	
複合用途(非特定)	4		4				1,015		1,015	
その他		1	▲ 1		22	▲ 22		153	▲ 153	

※ 住宅火災とは、一般住宅、共同住宅、併用住宅(住宅部分)の火災を示します。

(表14) 建物火災に占める住宅火災の推移

	火災	建物火災	住宅火災			住宅火災以外の 建物火災	
			計	一般住宅	共同住宅		併用住宅
平成 25 年	158	95	57	23	29	5	38
平成 26 年	177	109	77	41	27	9	32
平成 27 年	154	85	45	16	22	7	40
平成 28 年	152	85	51	23	26	2	34
平成 29 年	145	79	43	19	23	1	36
平成 30 年	148	77	46	26	18	2	31
令和 元 年	108	61	32	18	13	1	29
令和 2 年	116	83	52	23	29	0	31
令和 3 年	85	61	44	22	22	0	17
令和 4 年	109	74	45	21	23	1	29

(グラフ⑧) 建物火災に占める住宅火災の推移



(3) 放水開始時間別損害状況（表15）

令和4年中の建物火災において、消防隊が放水した件数は30件で、全建物火災の40.5%を占めている。

このうち、覚知から放水開始まで10分未満であった火災は5件で、放水件数の16.7%となっている。

なお、放水開始まで10分以上～15分未満が、建物焼損面積及び損害額において最も多くなっており、そのうち延焼した火災件数は4件である。

(表15) 建物火災の放水開始時間別損害概要

覚知から 放水開始まで	区分	出火件数 (件) A	焼損焼損 床面積 (㎡)	損害額 (千円)	延焼火災 件数(件) B	延焼率 (%) B/A
	5分未満	0	0	0	0	-
	5分以上～10分未満	5	198	26,929	0	0
	10分以上～15分未満	17	982	143,783	4	23.5
	15分以上～20分未満	7	144	6,469	3	42.9
	20分以上	1	0	712	0	0
	放水した建物火災	30	1,324	177,893	7	23.3
	全建物火災 (放水しなかった火災を含む)	74	1,328	179,418	7	9.5

(4) 鎮火時間別損害状況（表16）

令和4年中の消防隊が放水した建物火災の鎮火時間別焼損状況を見ると、放水開始から鎮火まで60分以上を要した火災は19件(放水した建物火災の63.3%)であり、延焼した火災件数7件全てが含まれている。

なお、放水開始から鎮火まで4時間を要したものが最長である。

(表16) 建物火災の鎮火時間別損害概要

放水開始 から鎮火まで	区分	出火件数 (件)	焼損床面積 (㎡)	損害額 (千円)	延焼火災 件数(件)	延焼率 (%)
	15分未満	5	8	4,724	0	0.0
	15分以上～30分未満	2	0	448	0	0.0
	30分以上～45分未満	2	1	38	0	0.0
	45分以上～60分未満	2	23	869	0	0.0
	60分以上	19	1,292	171,814	7	36.8
	放水した建物火災	30	1,324	177,893	7	23.3

5 死者・負傷者の状況(表17・表18・グラフ⑨)

令和4年中の火災による死者は4人で前年と比べ1人増加している。

死者4人全てが住宅火災で発生しており、経過不明が2人、着衣着火が1人及び放火自殺が1人である。

火災による負傷者は18人で前年と比べ3人増加しており、年代別としては50代が6人と最も多い。

負傷者の状況は、「避難中」に受傷したものが7人と最も多く(全体の38.9%)、次に「消火中」及び作業中の4人(全体の22.2%)となっている。

負傷の原因は、「煙を吸う」及び「火炎に煽られる」が8人(全体の44.4%)、次いで「飛び降り」及び「その他」が1人(全体の5.6%)である。

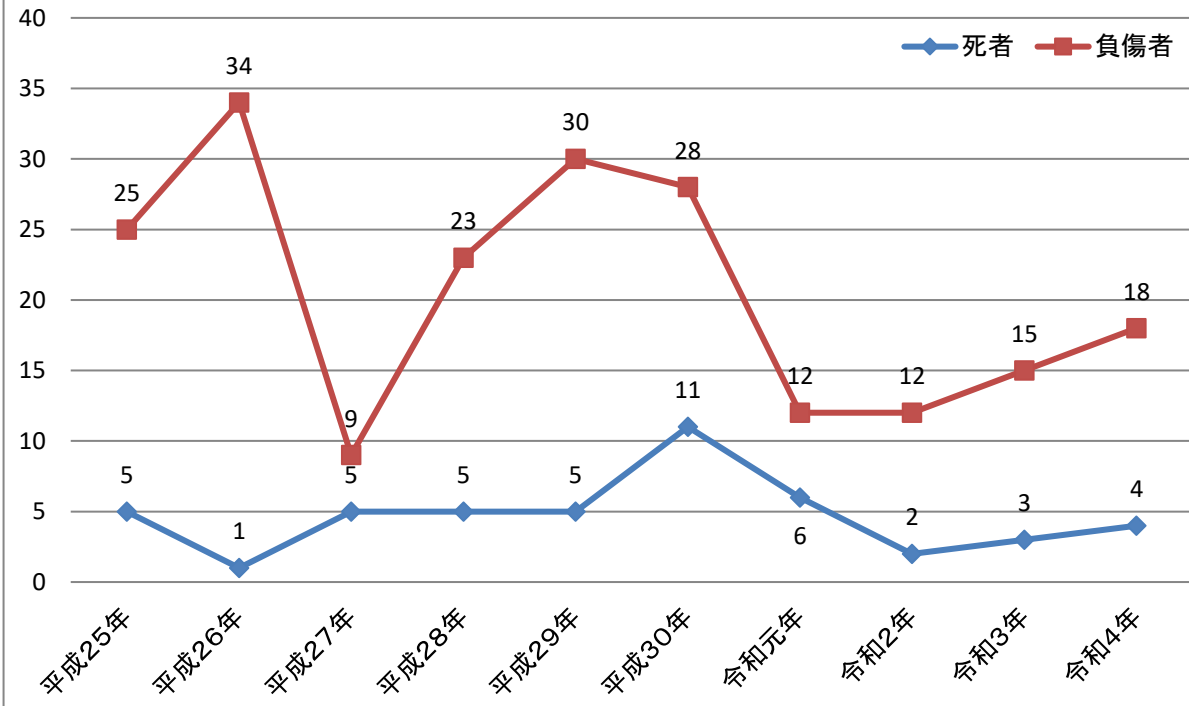
(表17)火災による死者の概要

令和4年〔死者4人男・2人/女・2人〕			令和3年〔死者3人男・2人/女・1人〕		
年齢	性別	死に至った経過	年齢	性別	死に至った経過
81	女	不明	65	男	逃げ遅れ
99	男	不明	75	女	放火自殺
85	女	着衣着火	83	男	逃げ遅れ
73	男	放火自殺			

(表18)火災による負傷者の概要

令和4年(18人男10人女8人)												
年代別		0~9	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90~	合計
人数		0	1	1	1	1	6	3	3	2	0	18
前年比		0	0	0	1	-3	4	1	2	0	-2	3
男女別	男	0	1	0	0	0	4	3	1	1	0	10
	女	0	0	1	1	1	2	0	2	1	0	8
負傷の状況	避難中	0	1	0	1	0	2	1	2	0	0	7
	消火中	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	4
	就寝中	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	作業中	0	0	1	0	1	0	0	1	1	0	4
	その他	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
負傷の原因	煙を吸う	0	1	0	0	0	3	1	2	1	0	8
	火炎に煽られる	0	0	1	0	1	2	2	1	1	0	8
	放射熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	飛び降り	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	その他	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
負傷程度	重症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	中等症	0	1	1	0	0	5	1	2	2	0	12
	軽症	0	0	0	1	1	1	2	1	0	0	6

(グラフ⑨) 死者・負傷者の発生状況の推移



6 住宅用防災機器の設置及び鳴動状況(グラフ⑩・⑪)

令和4年中の住宅火災45件のうち、住宅用防災機器が鳴動した火災は12件(住宅用防災警報器8件、住宅用防災報知設備4件)、鳴動無し・不明等の火災は31件、建物の共用部分等の住戸以外で発生した火災が2件である。

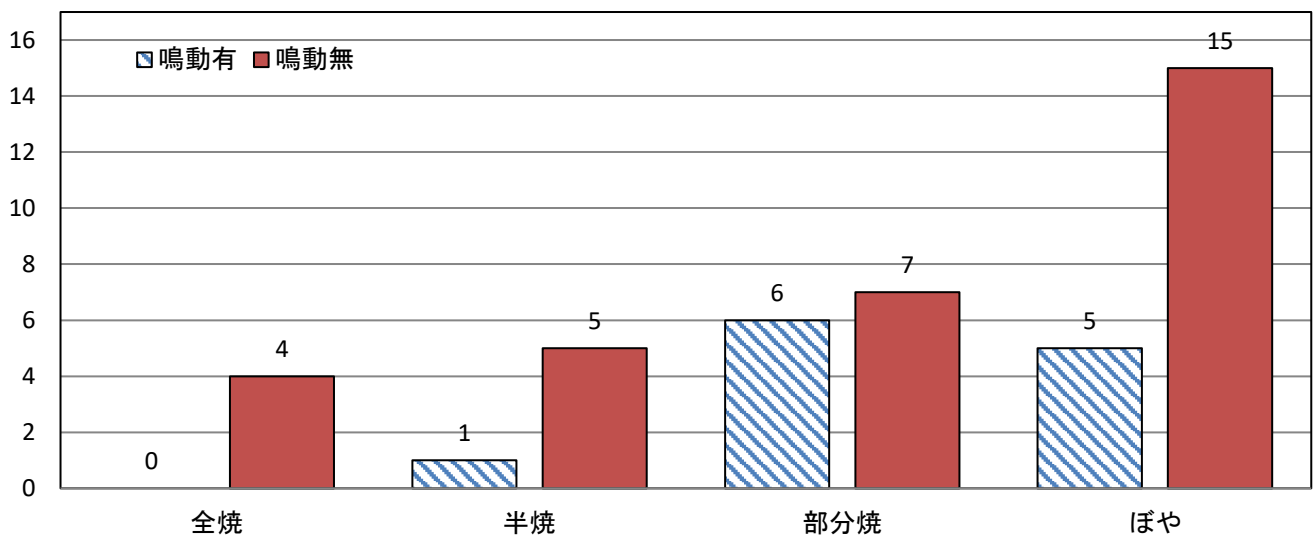
住宅用防災機器が鳴動した住宅火災の焼損程度を見ると、全焼については発生しておらず、半焼が1件(8.3%)、部分焼が6件(50.0%)、ぼやが5件(41.7%)となっている。

また、住宅火災における死傷者は、死者4人、負傷者14人が発生しており、死者4人のうち鳴動有では発生しておらず、鳴動無しで全て発生している。

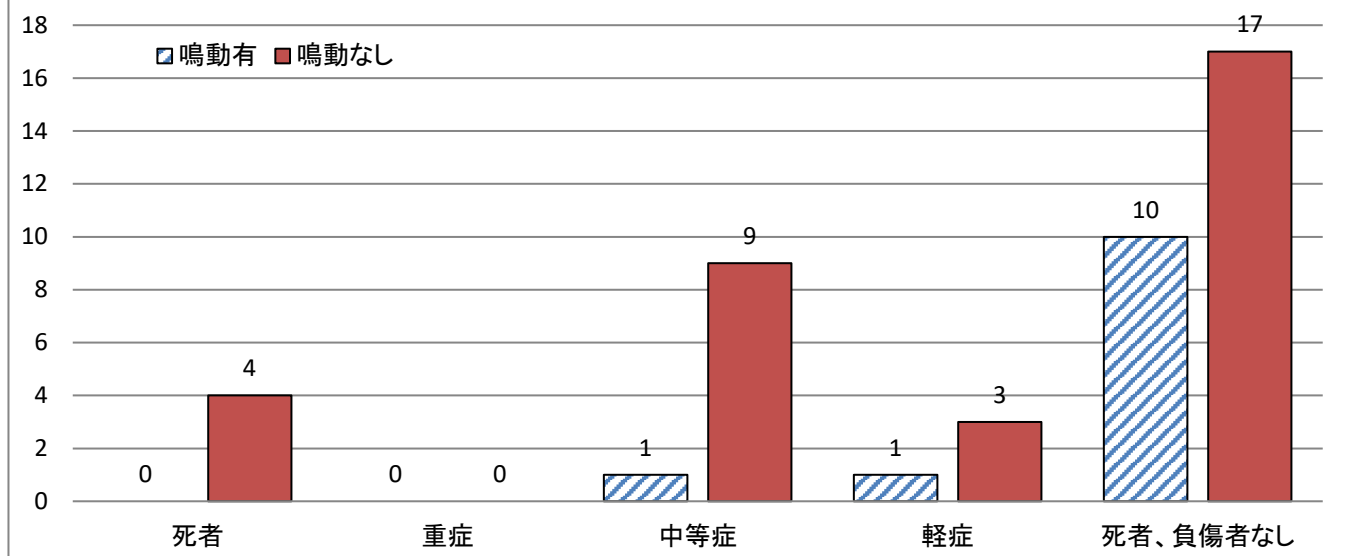
負傷者14人のうち鳴動有では2人(14.3%)、鳴動無しでは12人(85.7%)発生しており、死者及び負傷者それぞれ鳴動有の割合が低くなっている。

したがって、焼損程度及び死傷者の発生状況から、住宅用防災機器の設置が被害の軽減に貢献していると言える。

(グラフ⑩) 住宅用防災警報器の状況別焼損区分



(グラフ⑪)住宅用防災機器の状況別死傷者発生状況



7 管轄別火災発生状況(表19・グラフ⑫・⑬)

令和4年中の火災発生件数を消防署の管轄別にみると、中央署管轄が最も多く発生しており、建物火災についても中央署管轄が最多となっている。

過去10年間についてみると、中央署管轄は、令和3年で最も少ない件数(38件)であったが、令和4年は53件と15件増加している。

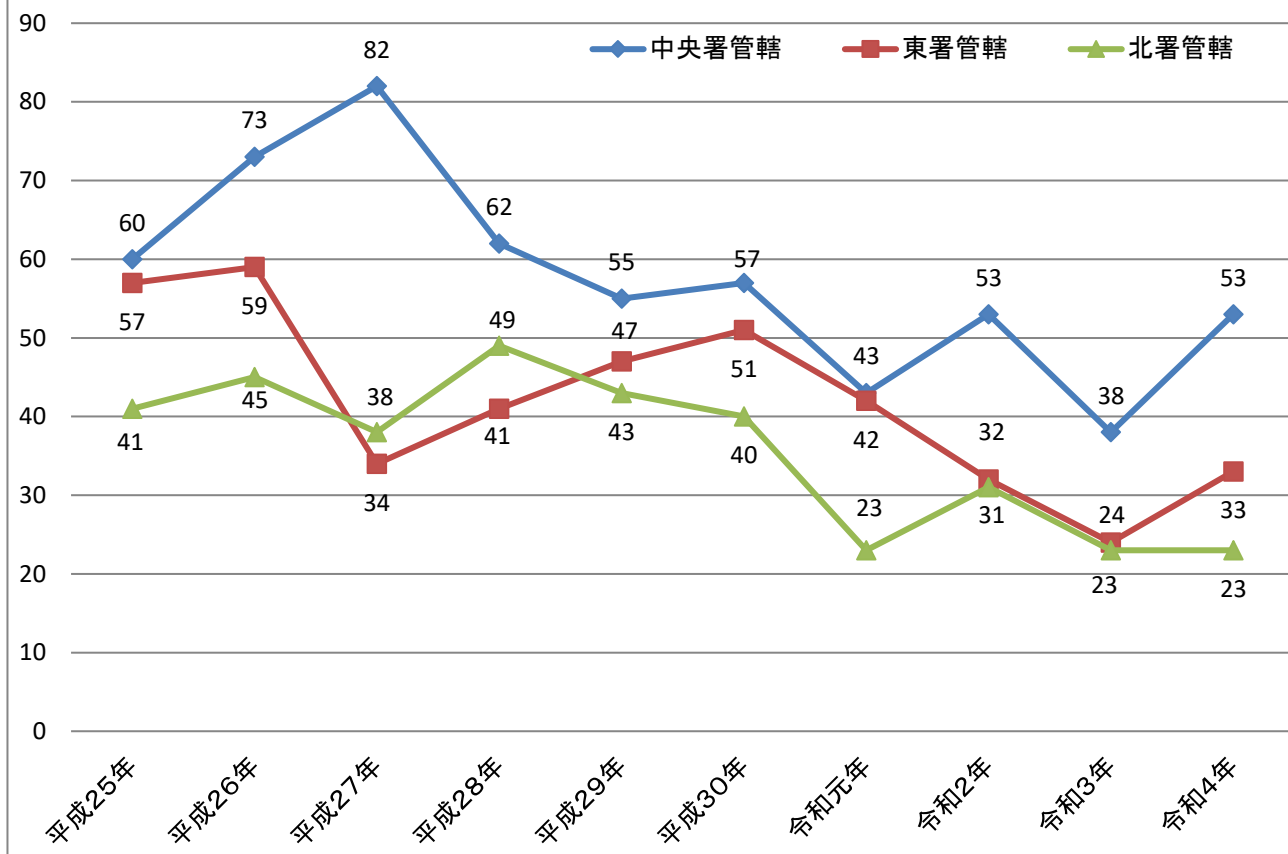
東署管轄は、令和3年で最も少ない件数(24件)であったが、令和4年は33件と9件増加している。

北署管轄は、令和4年が23件で、令和3年及び令和元年とともに過去10年で最も少ない件数となっている。

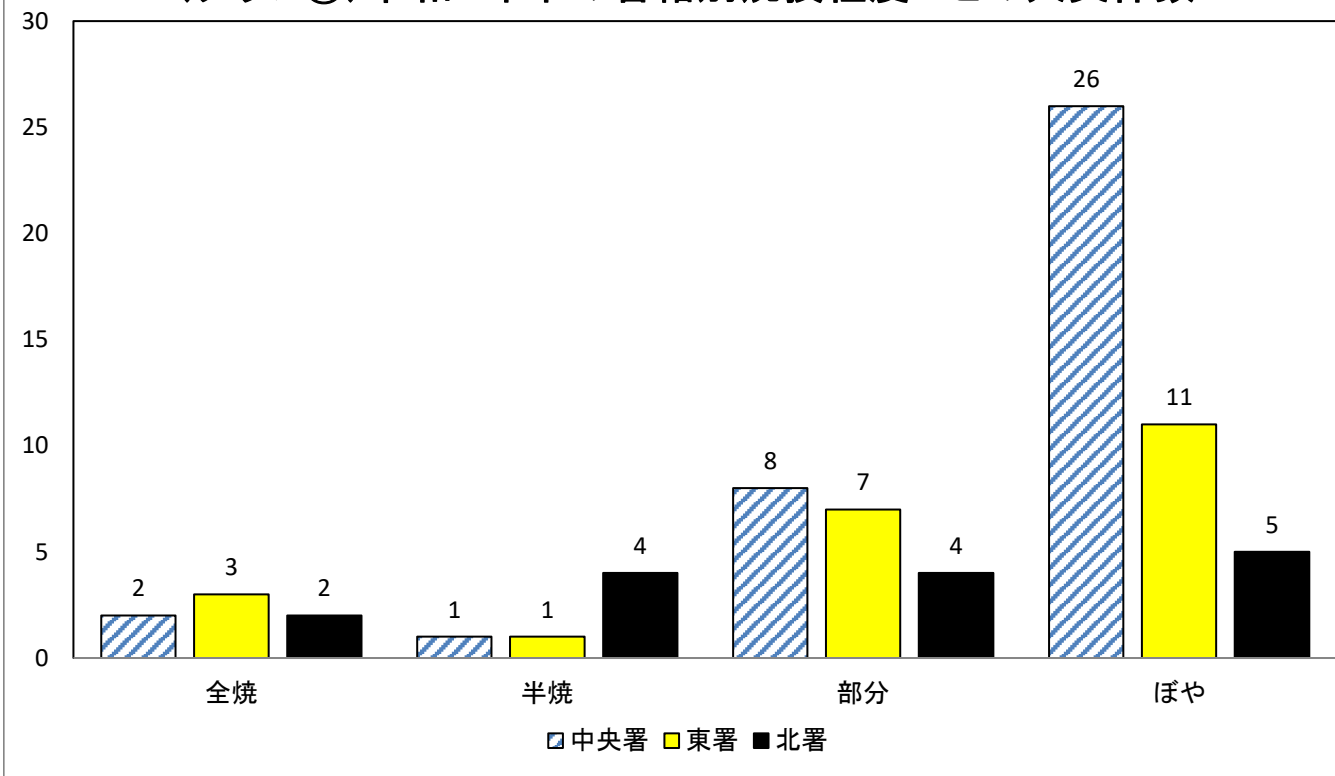
(表19)令和4年中の管轄別火災発生件数

種別 管轄	計	建物火災(出火建物)					林野火災	車両火災	船舶火災	航空機火災	その他火災	爆発
		計	全焼	半焼	部分焼	ぼや						
合計	109	74	7	6	19	42	0	10	0	0	25	0
中央署管轄	53	37	2	1	8	26	0	5	0	0	11	0
東署管轄	33	22	3	1	7	11	0	3	0	0	8	0
北署管轄	23	15	2	4	4	5	0	2	0	0	6	0

(グラフ⑫) 管轄別火災件数の推移



(グラフ⑬) 令和4年中の管轄別焼損程度ごとの火災件数



中央署管轄町名別火災件数

No.1

町丁目	種別	計	建物火災				林野火災	車両火災	船舶火災	航空機火災	その他の火災	
			火元棟									
			全焼	半焼	部分焼	ぼや						
合計		53	37	2	1	8	26		5			11
合東市												
市場												
1丁目												
2丁目												
3丁目												
4丁目												
5丁目												
印内町												
海神		2	1				1					1
1丁目		1	1				1					
2丁目												
3丁目												
4丁目												
5丁目		1										1
6丁目												
海神町		1	1			1						
2丁目		1	1			1						
3丁目												
海神町西1丁目												
海神町東1丁目												
海神町南1丁目		1	1				1					
葛飾町2丁目												
北本町		2	1			1		1				
1丁目												
2丁目		2	1			1		1				
米ヶ崎町		1						1				
栄町		3	2			1	1					1
1丁目		2	1				1					1
2丁目		1	1			1						
潮見町												
駿河台												
1丁目												
2丁目												
高瀬町												
夏見		1	1				1					
1丁目												
2丁目		1	1				1					
3丁目												
4丁目												
5丁目												
6丁目												
7丁目												

中央署管轄町名別火災件数

No.2

町丁目	種別	計	建物火災				林野火災	車両火災	船舶火災	航空機火災	その他の火災
			火元棟								
			全焼	半焼	部分焼	ぼや					
夏見台	見台	1	1				1				
	1丁目	1	1				1				
	2丁目										
	3丁目										
	4丁目										
夏見町2丁目		1	1				1				
西浦	西浦										
	1丁目										
	2丁目										
西船	西船	1	1				1				
	1丁目										
	4丁目	1	1				1				
浜町	浜町	15	9			1	8				6
	1丁目										
	2丁目	14	8				8				6
東中山1丁目	東中山1丁目	1	1			1					
	1丁目										
	3丁目	1	1			1					
東船橋	東船橋	2	1				1		1		
	1丁目										
	2丁目										
	3丁目	1							1		
	4丁目										
	5丁目										
	7丁目	1	1				1				
日の出	日の出	2	1	1							1
	1丁目	1									1
二子町	二子町										
	2丁目	1	1	1							
本郷町	本郷町	2	2			1	1				
	本郷町	9	8	1	1	1	5				1
	1丁目	2	2				2				
	2丁目	1	1		1						
	3丁目										
	4丁目	3	3	1		1	1				
	5丁目										
	6丁目	1	1				1				
7丁目	2	1				1				1	

中央署管轄町名別火災件数

No.3

町丁目	種別	計	建物火災				林野火災	車両火災	船舶火災	航空機火災	その他の火災
			火元棟								
			全焼	半焼	部分焼	ぼや					
湊町		1	1				1				
1丁目											
2丁目		1	1				1				
3丁目											
南海神											
1丁目											
2丁目											
南本町											
宮本		2	1				1				1
1丁目											
2丁目											
3丁目											
4丁目											
5丁目											
6丁目		1									1
7丁目		1	1				1				
8丁目											
9丁目											
本中山		2	2				2				
1丁目											
2丁目											
3丁目											
4丁目		1	1				1				
5丁目											
6丁目		1	1				1				
7丁目											
山手											
1丁目											
2丁目											
3丁目											
山野町		1	1			1					
若松		2						2			
1丁目		1						1			
2丁目		1						1			
3丁目											

東署管轄町名別火災件数

No.1

町丁目	種別	計	建築物火災				林野火災	車両火災	船舶火災	航空機火災	その他の火災
			火元棟								
			全焼	半焼	部分焼	ぼや					
合計		33	22	3	1	7	11		3		8
古和釜町											
芝山		4	3	2		1					1
芝山 1丁目											
芝山 2丁目		1									1
芝山 3丁目											
芝山 4丁目		1	1			1					
芝山 5丁目		2	2	2							
芝山 6丁目											
芝山 7丁目											
高根台											
高根台 1丁目											
高根台 2丁目											
高根台 3丁目											
高根台 4丁目											
高根台 5丁目											
高根台 6丁目											
高根台 7丁目											
滝台											
滝台 1丁目											
滝台 2丁目											
滝台町		1	1				1				
田喜野井											
田喜野井 1丁目											
田喜野井 2丁目											
田喜野井 3丁目											
田喜野井 4丁目											
田喜野井 5丁目											
田喜野井 6丁目											
田喜野井 7丁目											
坪井町		2	2			1	1				
坪井西											
坪井西 1丁目											
坪井西 2丁目											
坪井東											
坪井東 1丁目											
坪井東 2丁目											
坪井東 3丁目											
坪井東 4丁目											
坪井東 5丁目											
坪井東 6丁目											
中野木		1									1
中野木 1丁目											
中野木 2丁目		1									1

東署管轄町名別火災件数

No.2

町丁目	種別	計	建物火災				林野火災	車両火災	船舶火災	航空機火災	その他の火災
			火元棟								
			全焼	半焼	部分焼	ぼや					
七 習	林 町										
	志 野										
	1 丁目										
	2 丁目										
	3 丁目										
習	志 野 台	5	3			3		1		1	
	1 丁目	1	1			1					
	2 丁目										
	3 丁目										
	4 丁目	3	1			1		1		1	
	5 丁目										
	6 丁目										
	7 丁目	1	1			1					
西	習 志 野										
	1 丁目										
	2 丁目										
	3 丁目										
二	宮	3	2		1	1		1			
	1 丁目	1						1			
飯	山 満 町	4	1	1				1		2	
	1 丁目	1						1			
	2 丁目	2	1	1						1	
前	原 西	4	4			3	1				
	1 丁目										
	2 丁目	2	2			1	1				
	3 丁目	2	2			2					
	4 丁目										
	5 丁目										
	6 丁目										
	7 丁目										
前	原 東	4	2			1	1			2	
	1 丁目	1								1	
	2 丁目	1	1			1					
	3 丁目	1	1				1				
	4 丁目	1								1	
	5 丁目										

東署管轄町名別火災件数

No.3

町丁目	種別	計	建築物火災				林野火災	車両火災	船舶火災	航空機火災	その他の火災
			火元棟								
			全焼	半焼	部分焼	ぼや					
松が丘											
	1丁目										
	2丁目										
	3丁目										
	4丁目										
三山	5丁目	5	4		1	3				1	
	1丁目										
	2丁目	2	1			1				1	
	3丁目	1	1		1						
	4丁目										
	5丁目										
	6丁目	1	1			1					
	7丁目										
	8丁目	1	1			1					
葉円台	9丁目										
	1丁目										
	2丁目										
	3丁目										
	4丁目										
	5丁目										
薬園台町1丁目	6丁目										

北署管轄町名別火災件数

No.1

町丁目	種別	計	建物火災				林野火災	車両火災	船舶火災	航空機火災	その他の火災
			火元棟								
			全焼	半焼	部分焼	ぼや					
合計		23	15	2	4	4	5		2		6
旭町		1	1			1					
	旭町(住居表示未実施地域)										
	1丁目										
	2丁目										
	3丁目										
	4丁目										
	5丁目	1	1			1					
	6丁目										
印内											
	1丁目										
	2丁目										
	3丁目										
大穴北		2									2
	1丁目										
	2丁目										
	3丁目										
	4丁目										
	5丁目	2									2
	6丁目										
	7丁目										
	8丁目										
大穴町											
大穴南											
	1丁目										
	2丁目										
	3丁目										
	4丁目										
	5丁目										
大神保町											
金杉		2	2	1	1						
	1丁目	1	1	1							
	2丁目										
	3丁目										
	4丁目										
	5丁目	1	1		1						
	6丁目										
	7丁目										
	8丁目										
	9丁目										
金杉台											
	1丁目										
	2丁目										

北署管轄町名別火災件数

No.2

町丁目	種別	計	建物火災				林野火災	車両火災	船舶火災	航空機火災	その他の火災
			火元棟								
			全焼	半焼	部分焼	ぼや					
金杉町											
金堀町											
上山町											
1丁目											
2丁目											
3丁目											
行田											
1丁目											
2丁目											
3丁目											
行田町											
楠が山町											
車方町											
高野台	1	1		1							
1丁目											
2丁目											
3丁目	1	1		1							
4丁目											
5丁目											
古作											
1丁目											
2丁目											
3丁目											
4丁目											
古作町											
小野田町											
小室町											
咲が丘	2	2				2					
1丁目	1	1				1					
2丁目	1	1				1					
3丁目											
4丁目											
新高根											
1丁目											
2丁目											
3丁目											
4丁目											
5丁目											
6丁目											
神保町											
鈴身町	1						1				
高根町	1									1	

北署管轄町名別火災件数

No.3

町丁目	種別	計	建物火災				林野火災	車両火災	船舶火災	航空機火災	その他の火災
			火元棟								
			全焼	半焼	部分焼	ぼや					
豊富町											
夏見台6丁目											
西船	1						1				
2丁目	1						1				
3丁目											
6丁目											
7丁目											
東中山2丁目											
藤原	4	3	1			2				1	
1丁目											
2丁目											
3丁目	3	2				2				1	
4丁目											
5丁目	1	1	1								
6丁目											
7丁目											
8丁目											
二和											
1丁目											
2丁目											
3丁目											
4丁目											
5丁目											
6丁目											
二和東	2	2		1	1						
1丁目											
2丁目											
3丁目											
4丁目											
5丁目	1	1		1							
6丁目	1	1			1						
前貝塚町	1									1	
馬込町											
馬込西											
1丁目											
2丁目											
3丁目											
丸山	2	2			1	1					
1丁目											
2丁目	2	2			1	1					
3丁目											
4丁目											
5丁目											

北署管轄町名別火災件数

No.4

町丁目	種別	計	建物火災				林野火災	車両火災	船舶火災	航空機火災	その他の火災
			火元棟								
			全焼	半焼	部分焼	ぼや					
三	咲										
	1丁目										
	2丁目										
	3丁目										
	4丁目										
	5丁目										
	6丁目										
	7丁目										
	8丁目										
	9丁目										
三	咲町										
緑	台										
	1丁目										
	2丁目										
南	三咲	1	1		1						
	1丁目										
	2丁目										
	3丁目	1	1		1						
	4丁目										
み	やぎ台	2	1		1					1	
	1丁目										
	2丁目										
	3丁目	1								1	
	4丁目	1	1		1						
八	木が谷										
	1丁目										
	2丁目										
	3丁目										
	4丁目										
	5丁目										
八	木が谷町										